

沖縄県がん診療連携協議会による 院内がん登録データの利活用

琉球大学病院 がんセンター
増田 昌人

本日の発表内容

1. 沖縄県がん診療連携協議会

2. 沖縄県院内がん登録報告書の作成と公表の取り組み

(1)これまでの経緯

(2)分析結果からわかること

(3)問題点と対応策

(4)活用事例

3. まとめ

本日の発表内容

1. 沖縄県がん診療連携協議会

2. 沖縄県院内がん登録報告書の作成と公表の取り組み

- (1) これまでの経緯
- (2) 分析結果からわかること
- (3) 問題点と対応策
- (4) 活用事例

3. まとめ

沖縄県がん診療連携協議会 組織図

沖縄県がん診療連携協議会

- 沖縄県
- ①琉球大学病院 (県拠点病院)
 - ②沖縄県立中部病院 (地域拠点病院)
 - ③那覇市立病院 (地域拠点病院)
 - ④北部地区医師会病院(診療病院)
 - ⑤沖縄県立宮古病院 (診療病院)
 - ⑥沖縄県立八重山病院(診療病院)
- 事務局:琉球大学病院がんセンター

幹事会

大腸がん死激減プロジェクト

医療部会

離島・
八き地部会

緩和ケア・
在宅医療部会

小児・
AYA部会

情報提供・
相談支援部会

ベンチマーク
部会

地域連携WG

薬物療法WG

研修WG

在宅WG

妊孕性温存WG

がん登録
WG

本日の発表内容

1. 沖縄県がん診療連携協議会

2. 沖縄県院内がん登録報告書の作成と公表の取り組み

(1)これまでの経緯

(2)分析結果からわかること

(3)問題点と対応策

(4)活用事例

3. まとめ

院内及び地域がん登録導入説明会

1. 「院内および地域がん登録導入支援説明会」

沖縄県ではがん診療連携拠点病院(以下、拠点病院)等の治療カバー率が全国一低い。そのため、まずはカバー率を上げるために、県内の主要医療機関に院内がん登録を始めてもらうための取り組みを2009年にスタートした。

現在までに11施設で実施。開催にあたって、病院長、副病院長、診療部長、各科担当医、システム担当、がん登録実務者など各職種が参加するよう工夫した。説明会を行った11施設すべてにおいてがん登録が開始された。→全国集計参加病院のカバー率は90.2%で全国一である。

院内および地域がん登録
をはじめるにあたっての
マニュアル

がん登録部会でマニュアルを作成



説明会の様子(地域がんと院内がんの担当者2名が説明)



2. 「院内および地域がん登録研修会」

2009年にスタート。年に1回実施。1回約80名の実務者が参加。

2024/12/23

第16回がん診療提供体制のあり方に関する検討会

沖縄県院内がん登録報告書のこれまでの経緯

1. 琉球大学病院では、**2010年度**(2008年症例)から、**院内がん登録集計報告書を発行**した
2. 2013年症例の報告書からは、患者会、有識者、行政、拠点病院等で組織される沖縄県がん診療連携協議会(以下、協議会)と協力し、報告書を作成してきた

	施設数	集計部位	5年生存率掲載	専門家コメント	形態	
問題点が多い	2008年症例	3施設	5部位	—	—	資料
	2009年症例	3施設	5部位	—	—	資料
	2010年症例	3施設	7部位	—	—	冊子
	2011年症例	3施設	7部位	—	—	冊子
	2012年症例	3施設	7部位	—	—	冊子
改善活動を開始・継続	2013年症例	16施設	10部位	あり(拠点全体)	あり	冊子
	2014年症例	17施設	13部位	あり(施設別)	あり	冊子
	2015年症例	17施設	15部位	あり(施設別)	あり	冊子
	2016年症例	18施設	15部位	あり(施設別)	あり	冊子
	2017年症例	18施設	15部位	あり(施設別)	あり	冊子
	2018年症例	18施設	15部位	あり(施設別)	あり	冊子
	2019年症例	19施設	15部位	あり(施設別)	あり	冊子
	2020年症例	21施設	15部位	あり(施設別)	あり	冊子
	2021年症例	21施設	15部位	あり(施設別)	あり	冊子
	2022年症例	21施設	15部位	あり(施設別)	あり	冊子

院内がん登録 全国集計 結果閲覧システム

がん情報サービス
ganjoho.jp

がん統計

院内がん登録 全国集計 結果閲覧システム (0年集計) 施設別 がん種別 (病期/治療方法等) 検索

▶ 一つ前へ戻る

▶ TOP画面へ戻る

- はじめに (院内がん登録集計結果閲覧システムの見方)
- 操作方法は[こちら](#)をご参照ください。

施設種別	全データ提出施設	診断年	2022 ~ 2022	がん	大腸がん (大腸癌)
病期	臨床病期: 全病期	集計表示対象	病期別	集計単位	施設別

集計結果 垂分類を表示:

表示件数 1 - 20 / 20 ※施設種別にカーソルを当てるとデータ提出年と施設種別をご覧いただけます。また、背景色が■の施設は一部集計年度に院内がん登録全国集計に参加されておらず当該年のデータがない施設です。

都道府県	施設	施設種別	集計年数	総数 (病期不明を含む)	病期													
					0期	I期	II期	IIA期	IIB期	IIC期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IIVA期	IIVB期	IIVC期
沖縄	おもろまちメディカルセンター	拠点外	1か年	41	0	7~9	10 (24.4%)	7~9	1~3	0	1~3	0	1~3	0	4~6	1~3	1~3	1~3
沖縄	ハートライフ病院	拠点外	1か年	86	1~3	13 (15.1%)	23 (26.7%)	23 (26.7%)	0	0	16 (18.6%)	4~6	1~3	0	4~6	1~3	1~3	1~3
沖縄	浦添総合病院	拠点外	1か年	133	10 (7.5%)	24 (18.0%)	16 (12.0%)	14 (10.5%)	1~3	1~3	41 (30.8%)	4~6	1~3	0	4~6	1~3	1~3	1~3
沖縄	沖縄協同病院	拠点外	1か年	104	7~9	14 (13.5%)	15 (14.4%)	11 (10.6%)	1~3	1~3	35 (33.7%)	1~3	1~3	0	4~6	1~3	1~3	1~3
沖縄	沖縄県立宮古病院	拠点病院	1か年	54	4~6	7~9	4~6	4~6	0	1~3	24 (44.4%)	1~3	1~3	0	4~6	1~3	1~3	1~3
沖縄	沖縄県立中部病院	拠点病院	1か年	98	4~6	20 (20.4%)	10 (10.2%)	7~9	0	1~3	29 (29.6%)	4~6	1~3	0	4~6	1~3	1~3	1~3
沖縄	沖縄県立八重山病院	拠点病院	1か年	67	18 (26.9%)	17 (25.4%)	7~9	7~9	0	0	12 (17.9%)	4~6	1~3	0	4~6	1~3	1~3	1~3
沖縄	沖縄県立北部病院	拠点外	1か年	24	7~9	4~6	4~6	4~6	0	0	4~6	4~6	1~3	0	4~6	1~3	1~3	1~3
沖縄	沖縄赤十字病院	拠点外	1か年	37	0	1~3	1~3	1~3	1~3	0	15 (40.5%)	0	4~6	7~9	29.7%	4~6	1~3	1~3
沖縄	沖縄病院	拠点外	1か年	1~3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・院内がん登録全国集計結果閲覧システムもあり、CSVでも抽出可能であるが、これだけでは、**県民が理解するのは難しい。**

・各都道府県のがん対策に**ダイレクトに活用することは難しい。**

・沖縄県内で各方面に**丁寧な情報提供が必要である。**

各病院長に直接面談しての、 院内がん登録データ集計に関する許可と協力依頼(2013年度)

院内がん登録データ集計に関するアポイント

月日	曜日	時間	施設名	病院長名	担当者の同席
10月21日	(水)	14時00分	中部徳洲会病院	伊波先生	あり
10月26日	(月)	13時30分	南部徳洲会病院	赤崎先生	あり
10月27日	(火)	16時00分	中頭病院	宮里先生	依頼済み
11月9日	(月)	10時00分	浦添総合病院	棚田先生	依頼済み
		11時00分	国立沖縄病院	川畑先生	あり
		15時00分	豊見城中央病院	潮平先生	依頼済み
		17時00分	ハートライフ病院	奥島先生	あり
11月10日	(火)	14時30分	沖縄赤十字病院	高良先生	あり
		15時30分	沖縄協同病院	仲程先生	あり
		16時30分	南部病院	城間先生	あり

当時の訪問アポイント履歴

・院内がん登録報告書に参加する初年度は、すべての施設において病院長を訪問し、直接説明し、集計に関する許可と協力依頼を行った。

各病院長宛てのデータ提出依頼書・承諾書(2024年度)

令和 6 年 8 月 29 日

大浜第一病院
病院長 大城 康一 殿
院内がん登録実務担当者 殿

琉球大学病院がんセンター
センター長 増田 昌人

「沖縄県院内がん登録集計報告書(2023年症例)」への
参加およびデータ提出について

琉球大学病院がんセンター(以下、がんセンター)では、沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会と協力して、沖縄県内の主な医療機関の院内がん登録データを集計・分析した「院内がん登録集計報告書(2023年症例)」(以下、報告書)の発行および Web サイトでの公開を予定しています。

そこで、がん診療及び院内がん登録に関して沖縄県を代表する医療機関である食院に、昨年に引き続き院内がん登録データを集計・分析・公開する医療機関としてのご参加をお願い申し上げます。

ご承諾していただければ、別紙1「院内がん登録集計報告書(2023年)に関する承諾書」に必要事項をご記入の上、ご提出をお願い申し上げます。

なお、準備の都合上、誠に勝手ながら、令和 6 年 9 月 30 日(月)(必着)までに院内がん登録データの提出をお願いします。その際、承諾書の同封もお願い申し上げます。

なお、別紙2のとおり、食施設の院内がん登録担当者にご了知いただくとともに、報告書のご提出についてご心配をお願いする次第です。

「沖縄県院内がん登録集計報告書(2023年症例)」に関する

承諾書

「院内がん登録集計報告書(2023年症例)」に関して、別紙2のご協力が必要な事項について承諾し、院内がん登録データを集計・分析・公開する医療機関として参加いたします。

令和 年 月 日

琉球大学病院がんセンター
センター長 増田 昌人 殿

(食院施設名)

大

(食院

オ

(食院

・データ収集を行う際の依頼文
・院内がん登録データの収集と、施設別データを全面公開の方針で集計することを、文書で毎年承諾していただいている

院内がん登録報告書に対する協議会(主に患者関係委員)における意見

1. 医療機関の増加(2013年症例報告書から対応)

- 探したい施設が報告書に載っていない
- 拠点病院3施設のみでは少なすぎる

2. 集計がん種の増加(2013年症例報告書から対応)

- すべてのがんの種類に対応して欲しい。5大がんのみでは少ない

3. 5年生存率の公開(2014年症例報告書から対応)

- 自分と同じがんのステージ毎の生存率が知りたい。施設毎に知りたい

4. 専門家のコメントの掲載(2013年症例報告書から対応)

- グラフを見ても、それをどう読んだらいいか分からない
- 表やグラフの見方が分からない、見ても理解が難しい

5. データ検索できるWebサイトの構築(2015年症例から対応)

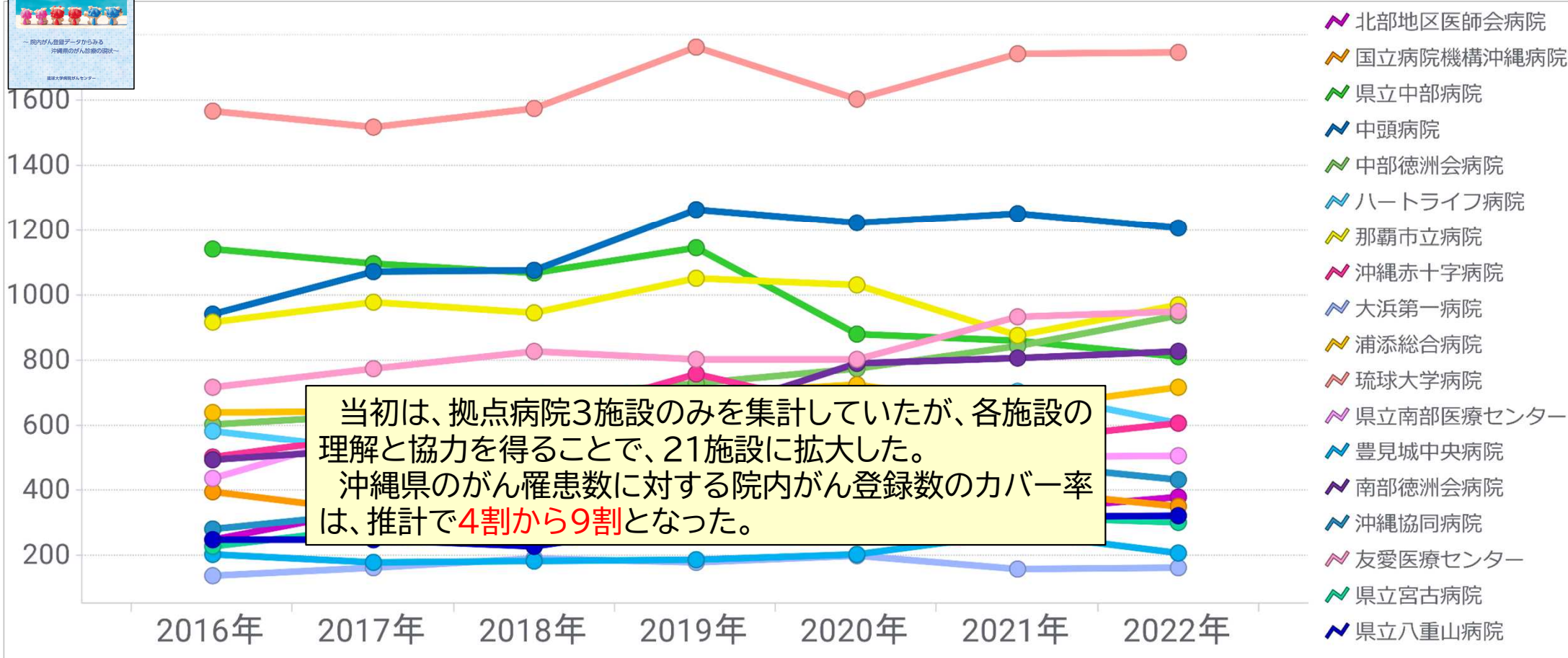
- 記載されている情報が、必要としているすべての患者に届くようにして欲しい



協議会委員からの要望には、できる限り応えてきた



医療機関の増加



3施設
(2008年症例)



16施設
(2013年症例)



18施設
(2016年症例)



21施設に拡大
(2020年症例以降)

本日の発表内容

1. 沖縄県がん診療連携協議会

2. 沖縄県院内がん登録報告書の作成と公表の取り組み

(1)これまでの経緯

(2)分析結果からわかること

(3)問題点と対応策

(4)活用事例

3. まとめ

沖縄県院内がん登録集計報告書 目次

沖縄県院内がん登録集計報告書 2022年症例



～ 院内がん登録データからみる
沖縄県のがん診療の現状～

目次

I 情報ナビ (本報告書のみかた)	1
1. 情報ナビ	2
2. がん診療連携拠点病院および地域がん診療病院 (地図)	4
3. 用語について	6
II 2022年沖縄県院内がん登録実施施設集計調査方法	10
1. 収集の対象と方法	10
(1) 収集の対象	
(2) 収集方法	
(3) 収集項目と定義	
2. 集計の対象と集計方法	13
(1) 集計の対象	
(2) 集計項目の定義	
(3) 「症例区分 80：その他」の扱いについて	
3. 生存率の集計対象と集計方法	15
(1) 集計の対象	
(2) 集計項目の定義	
(3) 生存率の集計方法	
III 2022年沖縄県院内がん登録実施施設 集計結果	19
1. 登録対象の特性	20
2. 部位別登録数とその推移	24
3. 二次保健医療圏別の特性	28
4. 小児・AYA 世代のがん登録数とその推移	34
5. 2013 - 2014年、2009 - 2015年診断例 5年相対生存率 集計結果	36
IV 2022年沖縄県院内がん登録実施施設 部位別 集計結果	45
1. 口腔・咽頭	46
2. 胃	52
3. 大腸	58

目次

9. 皮膚	94
10. 乳房 (特別集計)	100
乳房	106
11. 子宮頸部	112
12. 子宮体部	118
13. 前立腺	124
14. 脳・中枢神経系	130
15. 血液腫瘍	136
V 2022年沖縄県院内がん登録実施施設 施設別 集計結果	141
1. 北部地区医師会病院	143
2. 国立病院機構沖縄病院	151
3. 沖縄県立中部病院	159
4. 中頭病院	167
5. 中部徳洲会病院	178
6. ハートライフ病院	183
7. 那覇市立病院	191
8. 沖縄赤十字病院	199
9. 大浜第一病院	207
10. 浦添総合病院	215
11. 琉球大学病院	223
12. 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	231
13. 豊見城中央病院	239
14. 南部徳洲会病院	247
15. 沖縄協同病院	255
16. 友愛医療センター	263
17. 沖縄県立宮古病院	271
18. 沖縄県立八重山病院	279
VI がん診療にかかわる情報	288

青いラベルの「3、沖縄県院内がん登録実施施設 集計結果」のページでは、沖縄県内で院内がん登録を実施している施設の集計を、横並びで表示して、施設間の比較がやりやすくなっている。

赤いラベルの「4、部位別 集計結果」のページでは、部位ごとの詳細集計を施設別に表示。

オレンジのラベルの「5、施設別 集計結果」では、病院ごとの来院患者の特徴がわかるように集計結果を表示。

利用者のためのガイドページ



この冊子では大きく分けて3つの集計があります。

● 病院ごとの特徴を知るため、すべての病院を比較して見たい。 …… 

P19
(全施設 集計結果へ)

- 各病院がみているがんの数や種類、性別や年齢、治療施設などを掲載しています。
- 各病院の患者さんがどこの圏域から来院しているかがわかります。
- **がんの種類ごとにどの圏域で治療をしているかがわかります。**
- **小児がんやAYA世代のがんの数やどの病院でみているかがわかります。**
- がんの種類ごとの5年生存率を掲載しています。

● 自分のがん(がんの種類ごと)の治療の状況などが見たい。 …… 

P45
(部位別 集計結果へ)

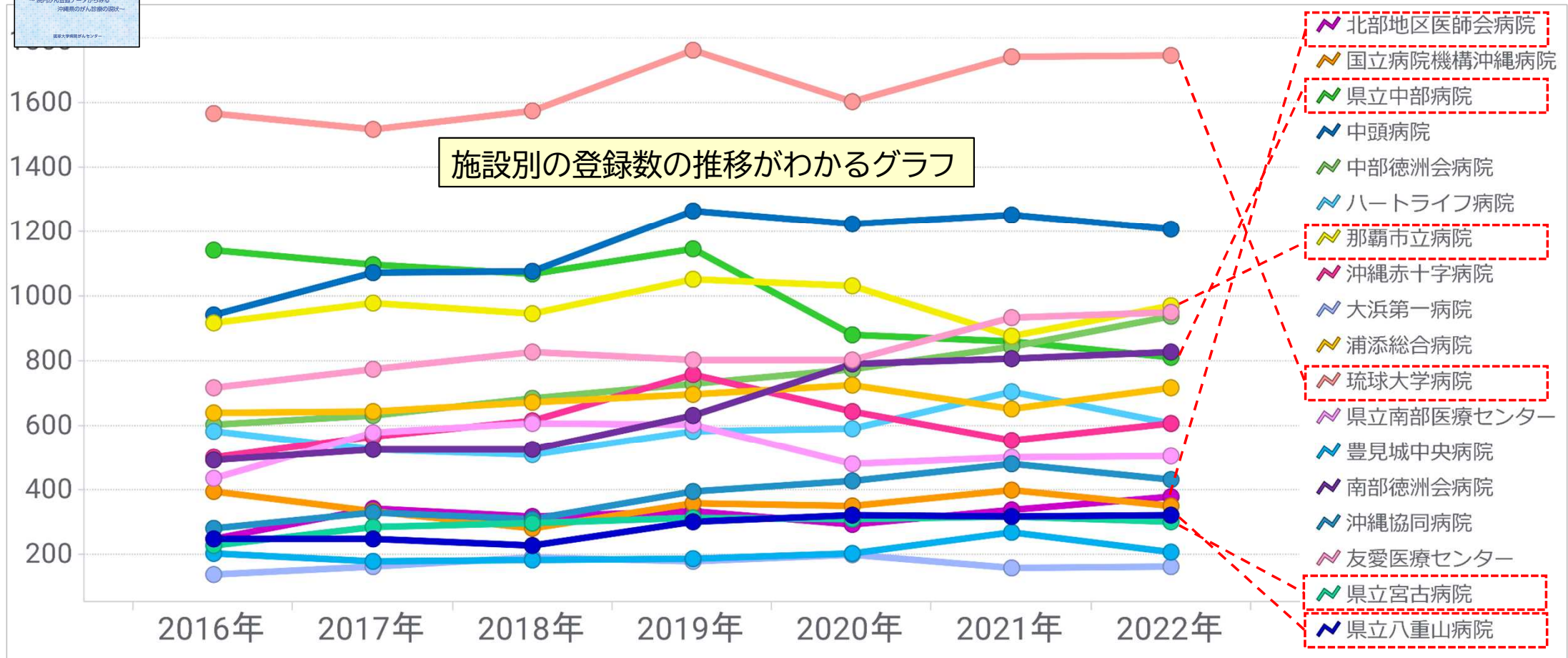
- がんの種類ごとに、がんの数、性別や年齢などを掲載しています。
- がんの種類ごとに、がん患者さんがどのような経路によって、その施設を受診したのかがわかります。
- がんの種類ごとに、「がん」と診断されるきっかけとなった状況がわかります。
- がんの種類ごとに、がんの進行度(ステージ)の割合がわかります。
- がんの種類ごとに、施設ごとの主な治療の種類や数、治療の組み合わせがわかります。
- がんの種類ごとに、施設ごとの初回治療が終了した患者さんの受け入れ状況がわかります。
- **がんの種類ごとに、専門医からのコメントが読めます。**

第16回がん診療提供体制のあり方に関する検討会

- 集計結果を並べるだけでは、活用されない。
- 報告書の中に**見る箇所をガイドするページ**をつけて、探しやすく工夫している。
 - (1) ○○がんはどの圏域で治療をしているか？
⇒ **P19(全施設 集計結果へ)**
 - (2) 小児がんやAYAがんはどこの病院がみている？
⇒ **P19(全施設 集計結果へ)**
 - (3) 数値を見ても理解できないから、専門医からのコメントが読みたい
⇒ **P45(部位別 集計結果へ)**



施設別の登録数の推移



は、拠点病院等



施設別の上位5部位の登録割合

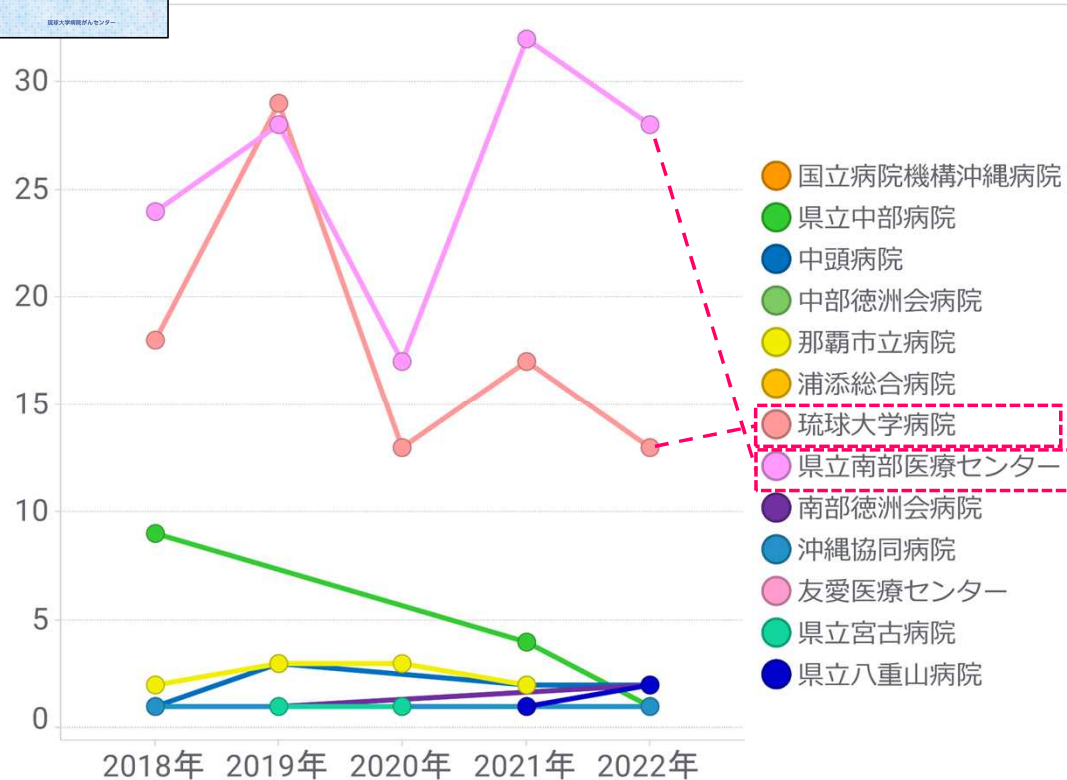
	1位			2位			3位			4位			5位			その他の部位								
	部位	件	%	部位	件	%	部位	件	%	部位	件	%	部位	件	%	部位	件	%						
沖縄県18施設合計	大腸	2036	16.9%	乳房	1462	12.1%	肺	1188	9.8%	前立腺	1152	9.5%	血液腫瘍	919	7.6%	その他	5217	44.0%						
北部地区医師会病院	大腸	93	24.4%	乳房	72	18.9%	肺	62	16.3%	胃	57	15.1%	前立腺	51	13.5%	血液腫瘍	47	12.4%	その他	217	58.4%			
国立病院機構沖縄病院	肺	167	47.7%	大腸	31	8.9%	その他の部位	28	8.0%	膀胱	27	7.5%	膵臓	26	7.2%	乳房	25	7.1%	前立腺	24	6.7%	その他	117	32.8%
県立中部病院	大腸	119	14.6%	血液腫瘍	94	11.5%	肺	89	10.9%	前立腺	88	10.8%	膀胱	87	10.7%	膵臓	86	10.6%	乳房	85	10.5%	その他	417	51.1%
中頭病院	乳房	268	22.1%	大腸	246	20.3%	肺	139	11.5%	前立腺	138	11.4%	膀胱	137	11.3%	膵臓	136	11.2%	血液腫瘍	135	11.1%	その他	521	42.9%
中部徳洲会病院	大腸	221	23.6%	前立腺	174	18.6%	血液腫瘍	77	8.2%	膀胱	76	8.1%	膵臓	75	8.0%	乳房	74	7.9%	その他	254	27.1%			
ハートライフ病院	大腸	99	16.3%	血液腫瘍	70	11.5%	前立腺	70	11.5%	乳房	60	9.9%	胃	55	9.0%	その他	254	41.8%						
那覇市立病院	大腸	198	20.4%	乳房	174	17.9%	胃	66	6.8%	前立腺	60	6.2%	血液腫瘍	57	5.9%	その他	417	42.9%						
沖縄赤十字病院	血液腫瘍	126	20.7%	乳房	107	17.5%	肺	75	12.3%	大腸	56	9.2%	前立腺	40	6.6%	その他	206	33.8%						
大浜第一病院	大腸	46	27.9%	前立腺	31	18.8%	胃	16	9.7%	肺	16	9.7%	皮膚	15	9.1%	その他	41	24.8%						
浦添総合病院	乳房	154	21.4%	大腸	149	20.8%	肺	73	10.2%	膵臓	57	7.9%	前立腺	44	6.1%	その他	241	33.6%						
琉球大学病院	子宮頸部	171	9.8%	口腔・咽頭	163	9.3%	皮膚	146	8.4%	血液腫瘍	133	7.6%	前立腺	121	6.9%	その他	1013	58.0%						
県立南部医療センター	血液腫瘍	106	20.9%	大腸	94	18.5%	乳房	60	11.8%	皮膚	34	6.7%	脳・中枢神経系	28	5.5%	その他	185	36.5%						
豊見城中央病院	皮膚	31	14.8%	血液腫瘍	27	12.9%	大腸	22	10.5%	肺	20	9.5%	前立腺	16	7.6%	その他	94	44.8%						
南部徳洲会病院	前立腺	210	25.3%	大腸	116	14.0%	乳房	98	11.8%	肺	95	11.5%	腎・他の尿路	43	5.2%	その他	267	32.2%						
沖縄協同病院	大腸	115	26.5%	肺	40	9.2%	胃	40	9.2%	乳房	38	8.8%	血液腫瘍	26	6.0%	その他	175	40.3%						
友愛医療センター	大腸	194	20.4%	乳房	112	11.8%	前立腺	110	11.6%	胃	73	7.7%	肺	71	7.5%	その他	392	41.2%						
県立宮古病院	大腸	63	20.7%	前立腺	38	12.5%	乳房	26	8.6%	肺	25	8.2%	皮膚	21	6.9%	その他	131	43.1%						
県立八重山病院	大腸	74	22.8%	前立腺	48	14.8%	肺	33	10.2%	胃	22	6.8%	皮膚	20	6.2%	その他	127	39.2%						

・効率的に、各施設の症例数の多いがんの種類を見ることができ、特徴を把握できる。
 例) 琉球大学病院の上位5部位は、通常のがん罹患の順位と全く違うことが分かる

● 口腔・咽頭 ● 胃 ● 大腸 ● 膵臓 ● 肺 ● 皮膚 ● 乳房 ● 子宮頸部 ● 前立腺 ● 腎・他の尿路 ● 膀胱 ● 脳・中枢神経系 ● 血液腫瘍 ● その他の部位

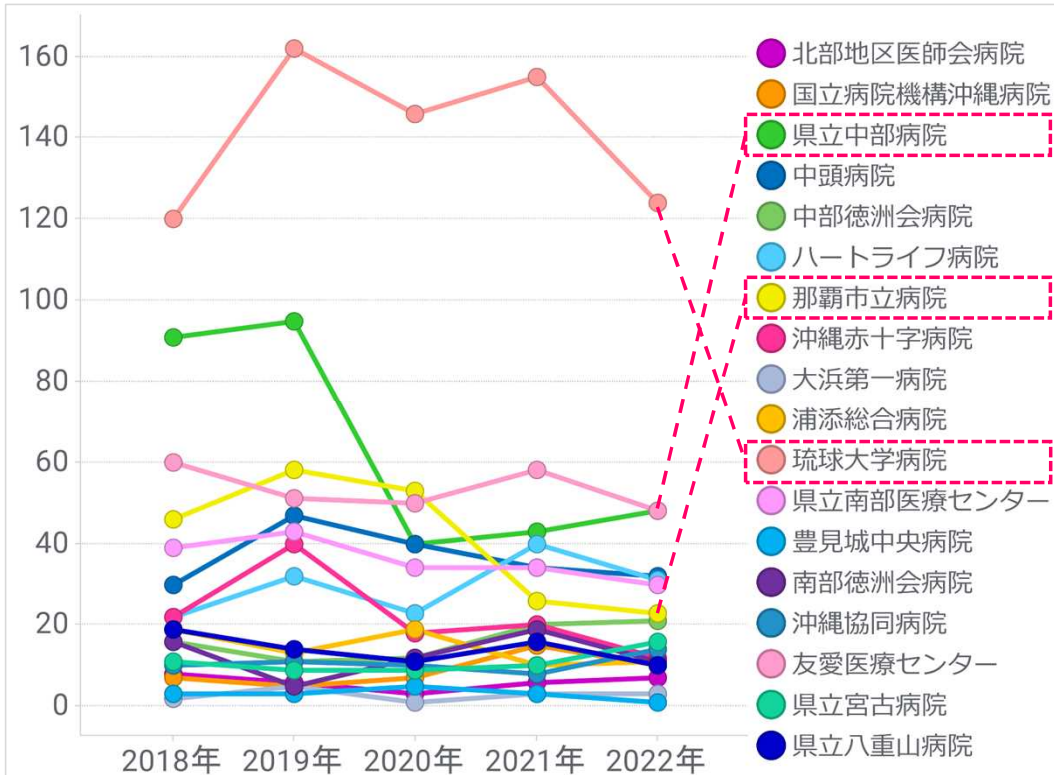


小児がん(0-14歳) 施設別登録数の推移



小児がんは、協議会において決議された、**県立南部医療センター・こども医療センターと琉球大学病院への集約化が、実際に進んでいることが分かる**

AYA世代がん(15-39歳) 施設別登録数の推移



AYA世代のがんは、協議会において、**琉球大学病院、県立中部病院、那覇市立病院への集約化が決議されたが、現状は不十分であることが分かる**

施設別 二次医療圏別 登録数と登録割合



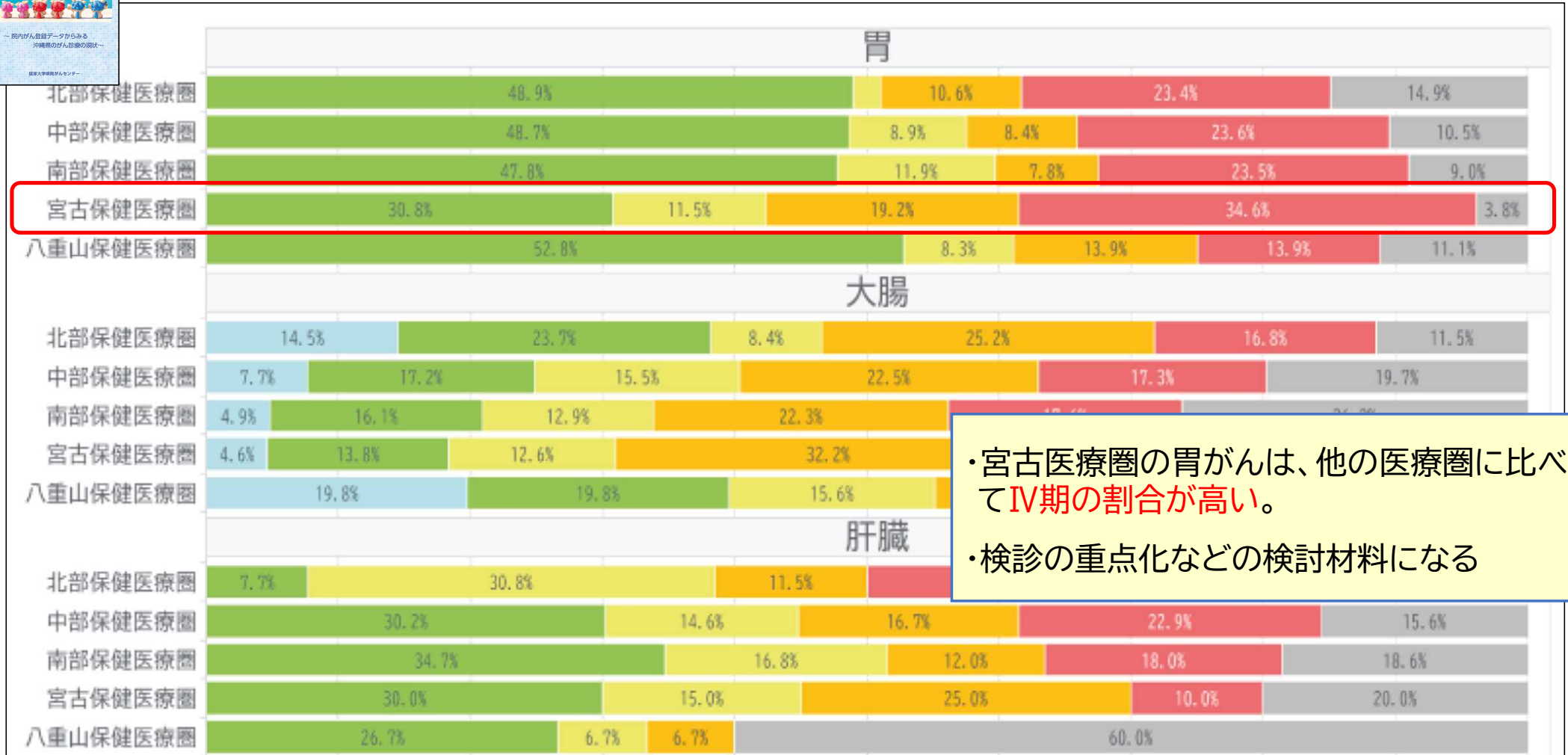
	北部保健医療圏		中部保健医療圏		南部保健医療圏
	件数	%	件数	%	
北部地区医師会病院	368	96.6%	8	2.1%	
国立病院機構沖縄病院	14	4.0%	155	44.3%	
県立中部病院	78	9.6%	657	80.7%	
中頭病院	103	8.5%	1079	89.2%	
中部徳洲会病院	69	7.4%	766	81.7%	
ハートライフ病院	12	2.0%	237	39.0%	
那覇市立病院	13	1.3%	74	7.6%	
沖縄赤十字病院	6	1.0%	14	2.3%	

・表だけでなく、色分けグラフを表示し、理解の助けとしている
 ・離島地域である八重山医療圏、宮古医療圏を多く診療している施設は、石垣島の八重山病院や宮古島の宮古病院である。
 ・しかし、本島の病院でも、**緑**の宮古医療圏と**青**の八重山医療圏の患者を、比較的多く診ている病院があることが分かる
 ・これらの現状が分かることで、地域連携などの検討材料になる。





二次医療圏別 部位別 ステージ別登録割合



・宮古医療圏の胃がんは、他の医療圏に比べてⅣ期の割合が高い。
 ・検診の重点化などの検討材料になる



琉球大学病院 5年生存率公開

		院内がん登録(全国437施設)			琉球大学病院							
		2013-2014年			2007-2010年				2011-2015年			
		対象者数	相対生存率	95%信頼区間	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
大腸	I期	28,888	94.5	94.0-95.0	69	--	--	23.2	68	97.0	4.4	1.5
	II期	28,127	88.4	87.8-89.0	36	92.2	9.2	2.8	68	85.9	8.0	1.5
	III期	28,305	77.3	76.7-78.0	53	88.3	7.8	5.7	81	84.7	6.3	1.2
	IV期	21,065	18.7	18.1-19.2	48	20.4	7.2	4.2	77	26.2	5.4	1.3
	不明	--	--	--	2	50.7	42.5	0.0	3	34.1	28.4	0.0
	全体	107,968	72.5	72.2-72.8	208	--	--	10.6	297	75.7	3.6	1.3
子宮頸部	I期	6,037	95.6	94.9-96.2	117	--	--	13.7	186	93.0	2.4	3.2
	II期	2,215	79.6	77.7-81.5	51	92.5	6.0	5.9	51	76.1	7.2	0.0
	III期	3,117	64.7	62.9-66.4	102	62.0	5.6	9.8	113	71.1	4.9	3.5
	IV期	2,033	26.0	24.1-28.0	33	25.1	8.0	9.1	72	23.6	5.3	0.0
	不明	--	--	--	3	35.0	29.3	0.0	1	0.0	0.0	0.0
	全体	13,552	75.1	74.3-75.9	306	--	--	10.5	423	74.7	2.5	2.4
前立腺	I期	27,762	100.0	100.0-100.0	45	--	--	17.8	151	100.0	3.1	2.0
	II期	20,232	100.0	100.0-100.0	100	--	--	11.0	93	100.0	4.6	1.1
	III期	10,633	100.0	100.0-100.0	25	--	--	28.0	31	100.0	4.2	0.0
	IV期	10,712	63.4	62.3-64.6	27	--	--	11.1	40	86.7	10.5	0.0
	不明	--	--	--	9	--	--	33.3	3	49.1	61.5	0.0
	全体	70,853	98.4	98.0-98.7	206	--	--	15.5	318	100.0	2.5	1.3
肺	I期	42,455	83.3	82.8-83.8	53	91.6	8.6	5.7	93	93.9	7.1	2.2
	II期	9,669	52.7	51.6-53.8	6	--	--	33.3	25	54.2	14.2	4.0
	III期	19,376	28.3	27.6-29.0	23	28.1	13.2	4.3	31	42.4	10.6	6.5
	IV期	36,853	7.1	6.9-7.4	45	9.5	5.2	8.9	94	3.9	2.2	0.0
	不明	--	--	--	0	--	--	--	3	100.0	0.0	0.0
	全体	110,072	44.5	44.1-44.8	127	52.2	6.0	7.9	246	52.1	4.5	2.0

15部位のステージ別5年生存率の算出と公開(掲載)
がん診療連携拠点病院(3施設)は、施設別に算出し、公開(掲載)



那覇市立病院/県立中部病院 5年生存率公開

那覇市立病院

県立中部病院

		院内がん登録(全国437施設)			立病院			
		2013-2014年			2011-2015年			
		対象者数	相対生存率	95%信頼区間	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
胃	I期	76,109	96.0	95.6-96.3	164	98.4	3.9	1.2
	II期	10,931	69.9	68.5-70.7	32	70.1	12.7	3.1
	III期	12,389	42.3	41.3-43.2	17	40.7	17.0	0.0
	IV期	19,519	6.2	5.9-6.6	59	2.1	2.2	0.0
	不明	-	-	-	6	-	-	16.7
	全体	120,740	72.4	72.1-72.7	278	74.5	4.3	1.4
大腸	I期	28,888	94.5	94.0-95.0	115	98.0	4.8	1.7
	II期	28,127	88.4	87.8-89.0	120	95.8	5.9	0.0
	III期	28,305	77.3	76.7-78.0	130	80.8	5.7	3.8
	IV期	21,065	18.7	18.1-19.2	81	14.0	4.4	1.2
	不明	-	-	-	4	0.0	0.0	0.0
	全体	107,968	72.5	72.2-72.8	450	81.4	3.3	1.8
肺	I期	42,455	83.3	82.8-83.8	34	89.2	13.1	5.9
	II期	9,669	52.7	51.6-53.8	11	26.2	18.5	0.0
	III期	19,376	28.3	27.6-29.0	46	12.4	6.4	0.0
	IV期	36,853	7.1	6.9-7.4	140	6.0	2.4	0.7
	不明	-	-	-	3	-	-	33.3
	全体	110,072	44.5	44.1-44.8	234	21.2	3.5	1.7

		院内がん登録(全国437施設)			中部病院			
		2013-2014年			2011-2015年			
		対象者数	相対生存率	95%信頼区間	対象者数	相対生存率	標準誤差	生死不明割合
全がん	I期	-	-	-	1,032	95.4	2.0	2.0
	II期	-	-	-	504	83.7	3.1	2.0
	III期	-	-	-	499	60.1	3.0	1.2
	IV期	-	-	-	783	17.6	1.6	0.6
	不明	-	-	-	45	19.4	10.6	0.0
	全体	875,381	67.5	67.4-67.6	2,863	66.1	1.3	1.5
大腸	I期	28,888	94.5	94.0-95.0	114	87.3	6.0	0.9
	II期	28,127	88.4	87.8-89.0	99	92.0	6.6	3.0
	III期	28,305	77.3	76.7-78.0	139	85.3	5.5	0.0
	IV期	21,065	18.7	18.1-19.2	119	18.6	4.1	0.8
	不明	-	-	-	10	0.0	0.0	0.0
	全体	107,968	72.5	72.2-72.8	481	70.8	3.2	1.0
肺	I期	42,455	83.3	82.8-83.8	73	85.3	9.6	0.0
	II期	9,669	52.7	51.6-53.8	28	50.1	15.3	0.0
	III期	19,376	28.3	27.6-29.0	71	13.8	5.5	0.0
	IV期	36,853	7.1	6.9-7.4	187	2.8	1.4	0.0
	不明	-	-	-	10	0.0	0.0	0.0
	全体	110,072	44.5	44.1-44.8	369	25.3	3.1	0.0

肺がんのステージⅢ期5年生存率が、那覇市立病院は15.9%、県立中部病院は14.5%と、**全国のがん拠点病院と比べて低いことが協議会での議論につながった。**

5年生存率について、協議会でも議論

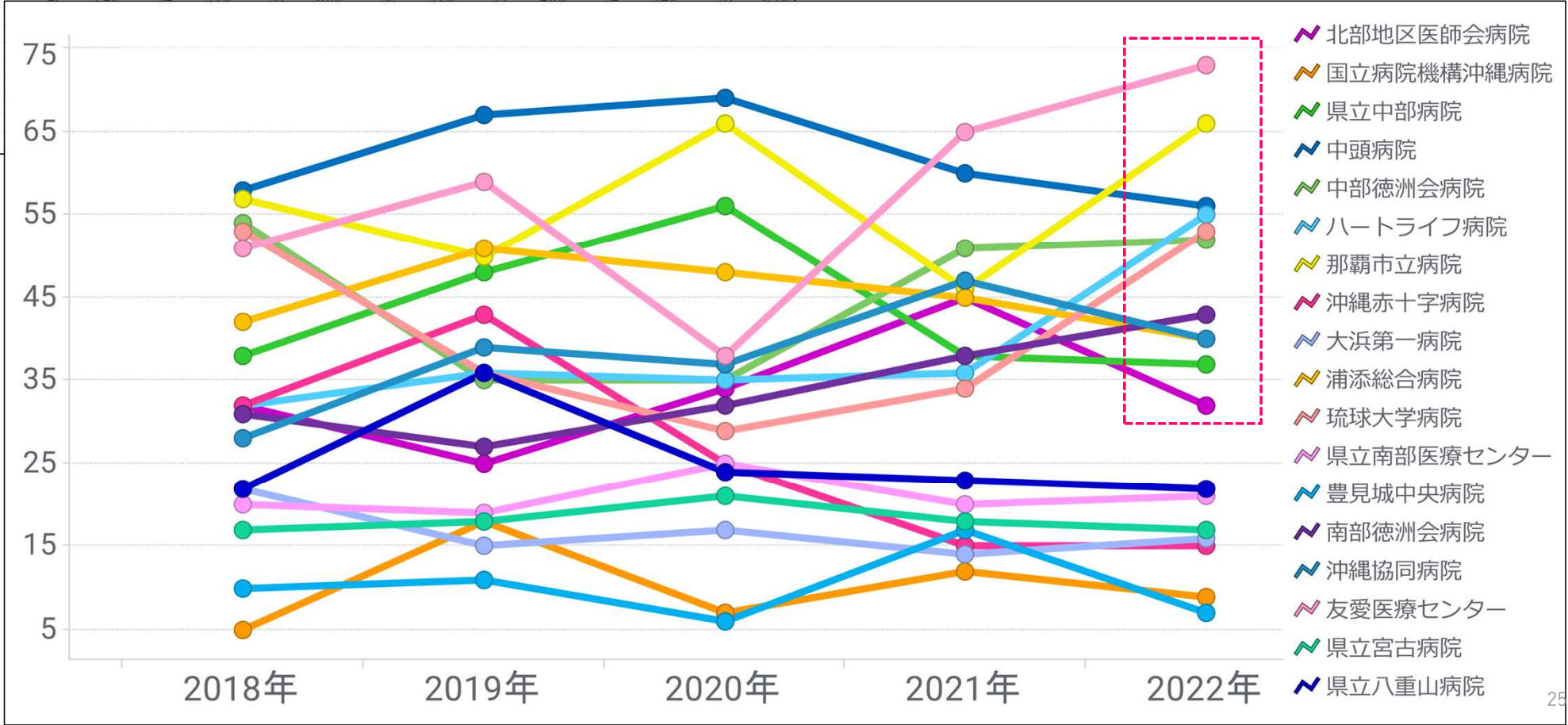
1. 協議会では、当初は地域がん登録の生存率を出していたが、熱心な討議がされてこなかった。
2. 院内がん登録による施設別かつステージ別に生存率を出すようになってから、協議会委員から、問題点の指摘や対応策の必要性が相次いだ。
3. 各病院長自らが、自院の生存率が低いのは、がん以外の心疾患・腎疾患・肝疾患などの複数臓器に問題を抱えていたり、生活習慣病などの基礎疾患が影響を与えている可能性が推察されるとのコメントが出された。
4. さらに、要因分析、院内の対策を再評価し、生存率向上の対策を進めるとの表明もあった。
5. 協議会委員である沖縄県医師会長や沖縄県保健医療部長からも、検診をしっかりと進める、これまで以上に喫煙の対策を取るとの表明につながった。
6. 生存率が施設別かつステージ別に出るようになって、協議会委員(特に拠点病院等選出委員)が初めて自分事として捉えるようになり、その後の活発かつ有意義な議論につながっている。



	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	22	3.9%	41	6.9%	32	5.3%	25	3.9%	34	5.6%	45	7.2%	32	4.9%
	12	2.1%	20	3.4%	5	0.8%	18	2.8%	7	1.2%	12	1.9%	9	1.4%
	61	10.8%	56	9.4%	38	6.3%	48	7.6%	56	9.3%	38	6.1%	37	5.7%
	59	10.5%	49	8.2%	58	9.6%	67	10.6%	69	11.4%	60	9.6%	56	8.6%
	30	5.3%	44	7.4%	54	8.9%	35	5.5%	35	5.8%	51	8.2%	52	8.0%
	37	6.6%	24	4.0%	32	5.3%	36	5.7%	35	5.8%	36	5.8%	55	8.4%
	67	11.9%	62	10.4%	57	9.4%	50	7.9%	66	10.9%	46	7.4%	66	10.1%
	15	2.7%	26	4.4%	32	5.3%	43	6.8%	25	4.1%	15	2.4%	15	2.3%
	10	1.8%	19	3.2%	22	3.6%	15	2.4%	17	2.8%	14	2.2%	16	2.4%
浦添総合病院	43	7.6%	37	6.2%	42	7.0%	51	8.1%	48	7.9%	45	7.2%	40	6.1%
琉球大学病院	42	7.4%	34	5.7%	53	8.8%	36	5.7%	29	4.8%	34	5.4%	53	8.1%
県立南部医療センター														
豊見城中央病院														
南部徳洲会病院														
沖縄協同病院														
友愛医療センター														
県立宮古病院														
県立八重山病院														
総計														

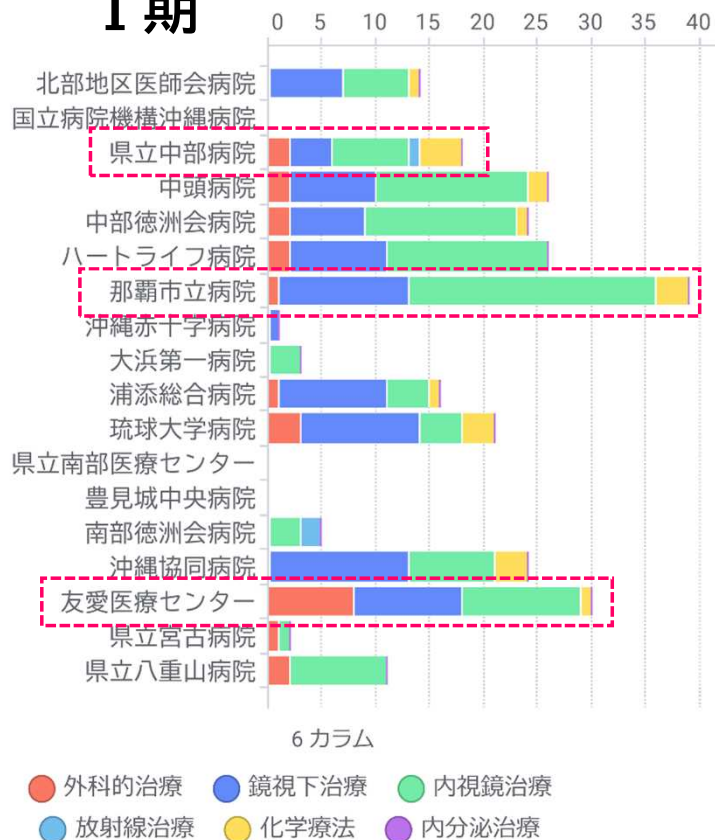
胃がん 登録数の推移

胃がんは、分散しており、集約化が進んでいないことが分かる

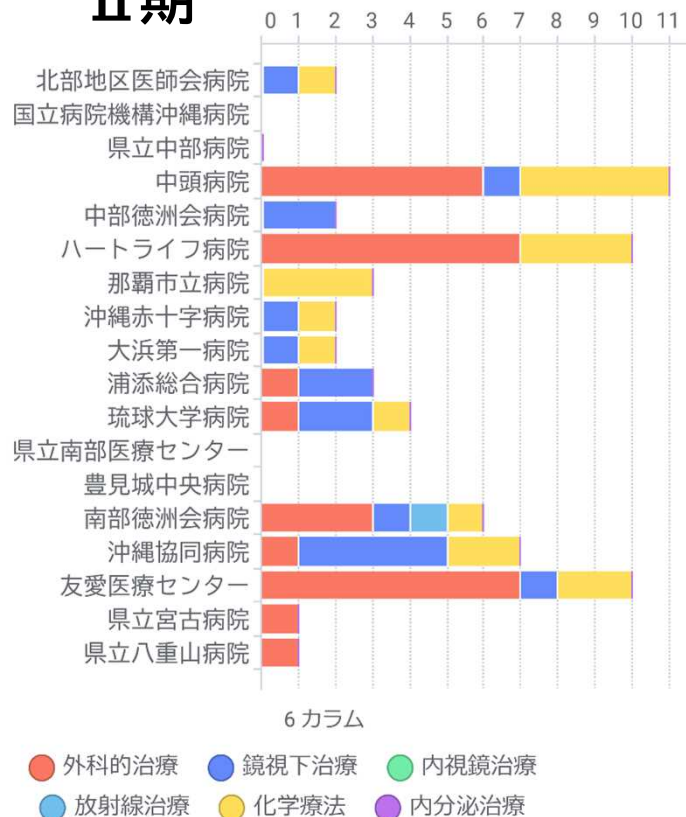


胃がん ステージ別 治療の件数

I 期



II 期



IV 期



・各施設への内視鏡治療や鏡視下治療の普及が進んでいるかが分かる。
 ・胃がん I 期では、多くの施設で青の鏡視下治療と黄緑の内視鏡治療が行われていることが分かる。





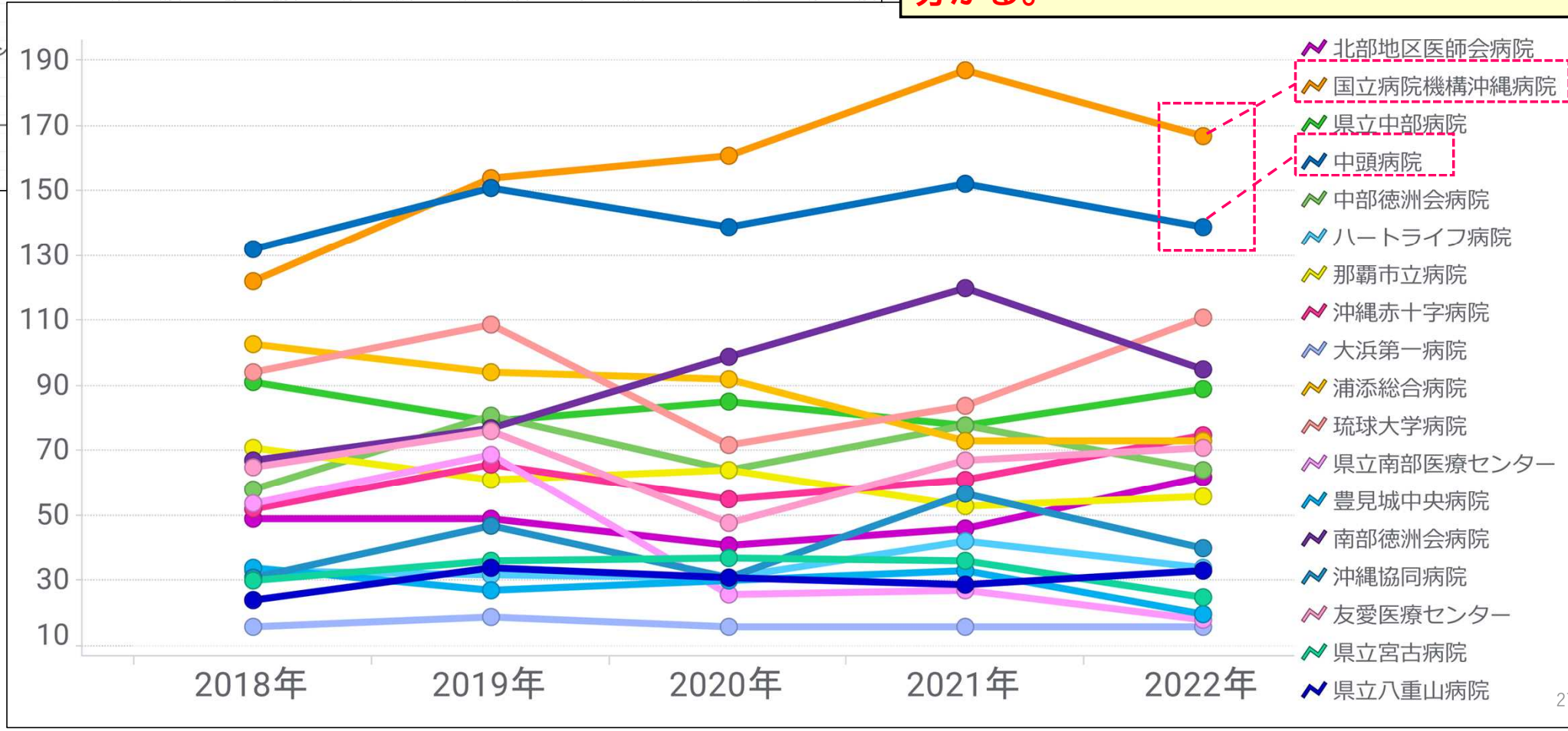
北
國
県
中
八
那
沖

大浜第一病院
浦添総合病院
琉球大学病院
県立南部医療センター
豊見城中央病院
南部徳洲会病院
沖縄協同病院
友愛医療センター
県立宮古病院
県立八重山病院
総計

	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
総計	28	2.6%	44	4.1%	49	4.4%	49	3.9%	41	3.7%	46	3.7%	62	5.2%
北部地区医師会病院	193	18.1%	143	13.2%	122	10.8%	154	12.2%	161	14.3%	187	15.1%	167	14.1%
国立病院機構沖縄病院	93	8.7%	101	9.3%	91	8.1%	79	6.3%	85	7.6%	78	6.3%	89	7.5%
県立中部病院	98	9.2%	123	11.4%	132	11.7%	151	12.0%	139	12.4%	152	12.3%	139	11.7%
中頭病院	52	4.9%	64	5.9%	58	5.2%	81	6.4%	64	5.7%	78	6.3%	64	5.4%
中部徳洲会病院	37	3.5%	34	3.1%	33	2.9%	32	2.5%	31	2.8%	42	3.4%	34	2.9%
ハートライフ病院	75	7.0%	73	6.7%	71	6.3%	61	4.8%	64	5.7%	53	4.3%	56	4.7%
那覇市立病院	42	3.9%	57	5.3%	52	4.6%	66	5.2%	55	4.9%	61	4.9%	75	6.3%
沖繩赤十字病院	16	1.5%	25	2.3%	16	1.4%	19	1.5%	16	1.4%	16	1.3%	16	1.3%

肺がん 登録数の推移

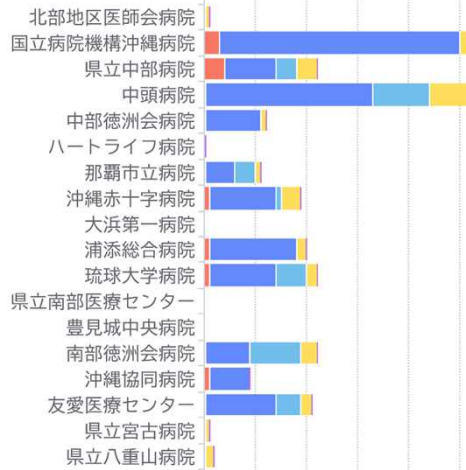
肺がんは、沖縄病院と中頭病院に、ある程度ではあるが、集約化が進んでいることが分かる。



肺がん ステージ別 治療の件数

I 期

0 10 20 30 40 50 60

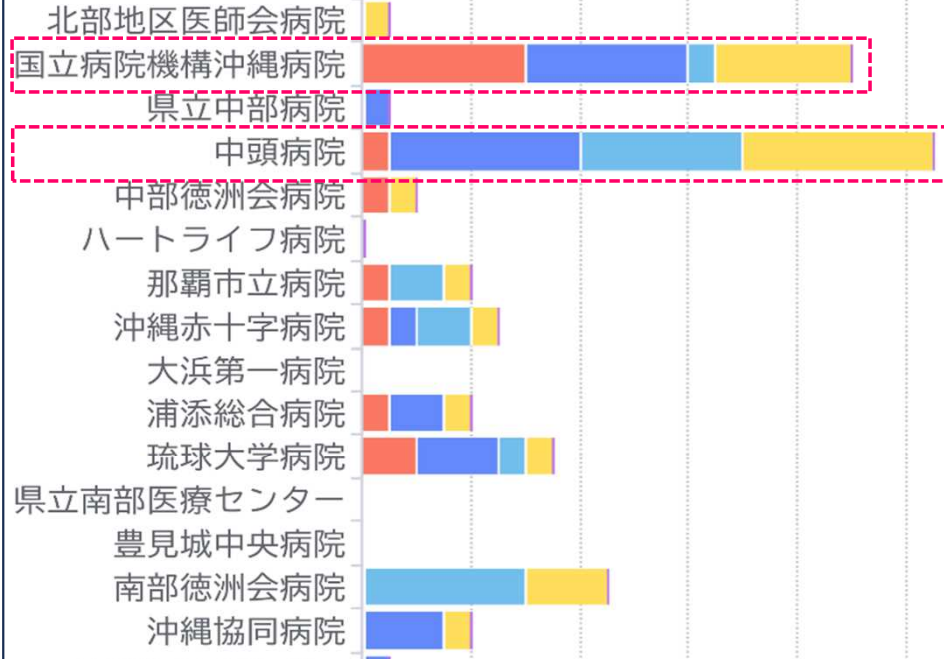


6 カラム

● 外科的治療 ● 鏡視下治療 ● 内視鏡治療
● 放射線治療 ● 化学療法 ● 内分泌治療

II 期

0 4 8 12 16 20



30 40 50

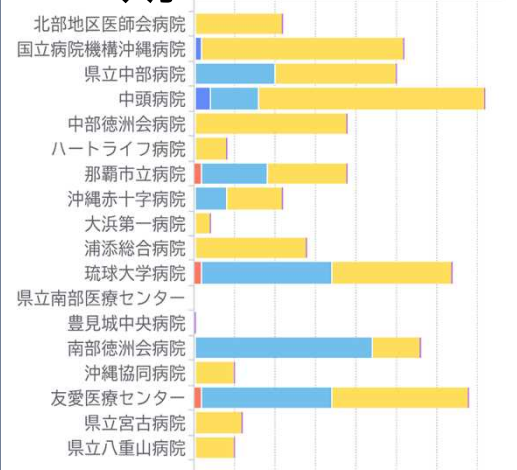
● 外科的治療 ● 鏡視下治療 ● 内視鏡治療
● 放射線治療 ● 化学療法 ● 内分泌治療

治療

● 放射線治療 ● 化学療法 ● 内分泌治療

IV 期

0 5 10 15 20 25 30 35



6 カラム

● 外科的治療 ● 鏡視下治療 ● 内視鏡治療
● 放射線治療 ● 化学療法 ● 内分泌治療

・各施設が、ガイドラインに沿った治療を行っているか否かが分かる。
・沖縄県では、肺がんステージ II 期では、選択される治療が、施設間でかなり異なっていることが分かる。





専門家コメント掲載

がん疫学専門家のコメント

臓器別専門医のコメント

全体的な集計からみえるがん罹患の傾向や、各施設・各部位別詳細集計からみえるがん診療の特徴や傾向について記載

各部位別詳細集計からみえる沖縄の罹患の傾向や、沖縄県内の具体的ながん診療の現状、今後の課題等について記載

肺 (C33-C34)

データを見ると

18 施設のがん登録数は1,239 件(2021 年)で、前年の登録数より10.4%の増加を認めました。男女別登録割合(2021 年)は、男性68.8%、女性31.2%で、男性は女性の2.2倍の登録数でした。年齢階級別登録割合をみると、2021 年は70 ~ 79 歳にピークを認め、いずれの年も全体の約9割を60 歳代以上が占めています。登録数を施設別にみると、件数の多い上位3 施設は、国立病院機構沖縄病院 197 件、中興病院 152 件、南部経済会病院 120 件でした。

18 施設の治療前ステージ別登録数の1期の割合(32.5%)は、全国の割合(38.6%)と比べて、6.1%下回っており、IV 期の割合(39.1%)は、全国の割合(32.3%)と比べて、6.8%上回っていました。

施設別 登録数の推移

施設名	2019年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
北部地区医師会病院	20	2.8%	44	4.1%	49	4.4%	49	3.9%	47	3.7%	46	3.7%
国立病院機構沖縄病院	189	18.1%	140	13.2%	122	10.8%	154	12.5%	161	14.2%	197	15.9%
国立中興病院	93	8.7%	101	9.3%	81	8.7%	79	8.2%	83	7.6%	78	8.3%
中興病院	98	8.2%	123	11.4%	122	11.7%	151	12.1%	139	12.4%	152	12.3%
南部経済会病院	52	4.9%	64	5.9%	38	5.2%	61	4.4%	64	5.7%	78	6.3%
ハートライフ病院	37	3.3%	34	3.1%	33	2.9%	32	2.8%	31	2.8%	42	3.4%
那覇中央病院	75	7.0%	73	6.7%	71	6.3%	61	4.8%	64	5.7%	59	4.3%
沖縄赤十字病院	42	3.9%	57	5.3%	32	4.6%	66	5.2%	55	4.9%	61	4.9%
大塚第一病院	16	1.5%	25	2.3%	18	1.6%	19	1.5%	16	1.4%	16	1.3%
読谷総合病院	88	8.4%	74	6.8%	103	9.1%	94	7.5%	92	8.2%	73	5.8%
琉球大学病院	117	11.0%	63	5.8%	94	8.3%	109	8.8%	72	6.4%	84	6.8%
国立沖縄医療センター	43	4.0%	43	4.2%	34	4.8%	49	3.9%	26	2.3%	27	2.2%
鹿児島中央病院	26	2.4%	33	3.0%	34	3.0%	27	2.1%	30	2.7%	33	2.7%
那覇経済会病院	40	4.8%	71	6.6%	67	6.0%	77	6.1%	99	8.0%	120	9.7%
沖縄協賛病院	22	2.1%	31	2.9%	31	2.8%	47	3.7%	31	2.8%	37	4.4%
大塚協賛センター	10	0.9%	36	3.2%	18	1.6%	78	6.2%	46	4.2%	47	3.8%
国立那覇病院	12	1.1%	20	1.8%	33	2.7%	36	2.9%	27	2.2%	26	2.1%
国立八重山病院	33	3.1%	25	2.3%	34	2.1%	34	2.7%	31	2.8%	20	1.6%
合計	1047	100.0%	1062	100.0%	1128	100.0%	1261	100.0%	1122	100.0%	1238	100.0%

臨床医からのコメント

2021 年沖縄県内のがん登録データによると、本県 18 施設における肺がん登録症例数は、1,239 件と前年より 10.4%の増加を認め、100 件を超える医療機関は国立沖縄病院 187 件、中興病院 152 件、南部経済会病院 120 件の 3 施設でした。県全体のステージ別登録数の 1 期の割合は 32.5%と前年(30.9%)より1.6%高く、IV 期の割合は 39.1%と前年(41.0%)より1.9%低くなっており、今後の 5 年相対生存率の改善に向けて高い関心と意欲が感じられます。切除率に関しては、全体で 25.9%、0-I 期に絞ると 41.5%の結果でしたが、県内のがん登録 100 件を超える沖縄病院では(0-I 期) 35.9%/0-II 期) 45.5%、中興病院では(0-I 期) 31.6%/0-II 期) 46.9%と切除率の改善が認められており、治療成績をあげるには手術の集約化が重要と考えられます。また、沖縄県では 0-I 期で見つかる症例が少なく、院内のがん登録の切除率が低くても 74%の肺がん症例は手術以外の方法で治療を受けています。2021 年集計による沖縄県での放射線治療実施率は全症例の 18.9%で、2013 年全国水準に近づいていると考えられます。近年の治療法の進歩として、放射線化学同時併用療法を導入することで、5 年生存率は 42.9% (プラモが計 33.4%)、5 年相対生存率は 33.1% (プラモが計 28.9%)と生存率の改善が期待されています。

2021 年集計による肺がん登録データによると、本県 18 施設における肺がん登録症例数は、1,239 件と前年より 10.4%の増加を認め、100 件を超える医療機関は国立沖縄病院 187 件、中興病院 152 件、南部経済会病院 120 件の 3 施設でした。県全体のステージ別登録数の 1 期の割合は 32.5%と前年(30.9%)より1.6%高く、IV 期の割合は 39.1%と前年(41.0%)より1.9%低くなっており、今後の 5 年相対生存率の改善に向けて高い関心と意欲が感じられます。切除率に関しては、全体で 25.9%、0-I 期に絞ると 41.5%の結果でしたが、県内のがん登録 100 件を超える沖縄病院では(0-I 期) 35.9%/0-II 期) 45.5%、中興病院では(0-I 期) 31.6%/0-II 期) 46.9%と切除率の改善が認められており、治療成績をあげるには手術の集約化が重要と考えられます。また、沖縄県では 0-I 期で見つかる症例が少なく、院内のがん登録の切除率が低くても 74%の肺がん症例は手術以外の方法で治療を受けています。2021 年集計による沖縄県での放射線治療実施率は全症例の 18.9%で、2013 年全国水準に近づいていると考えられます。近年の治療法の進歩として、放射線化学同時併用療法を導入することで、5 年生存率は 42.9% (プラモが計 33.4%)、5 年相対生存率は 33.1% (プラモが計 28.9%)と生存率の改善が期待されています。

施設別 UICC TNM 分類 治療前ステージ別 治療の件数

0期

I 期

IV 期

● 外科的治療 ● 放射線治療 ● 化学療法 ● 内分泌治療 ● 内臓器治療 ● 外科 ● 放射線 ● 化学 ● 内分泌

沖縄県院内がん登録報告書の概要



発行日:2024年3月30日発行

発行部数:400部

編著:琉球大学病院がんセンター

沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会

発行:琉球大学病院がんセンター

予算:がん診療連携拠点病院機能強化事業費(琉球大学病院)

事務局・集計作業者:院内がん登録実務者2名(琉球大学病院)

配布先:

①県内患者会(12団体)

②県内図書館(5施設)

③県内保健所(6施設)

④県医師会(1施設)

⑤県内地区医師会(8施設)

⑥沖縄県(4施設)

⑦県内主要医療機関(約100施設)

⑧都道府県がん診療連携拠点病院(50施設)

など

本日の発表内容

1. 沖縄県がん診療連携協議会

2. 沖縄県院内がん登録報告書の作成と公表の取り組み

(1)これまでの経緯

(2)分析結果からわかること

(3)問題点と対応策

(4)活用事例

3. まとめ

問題点と対応策

<問題点>

- 拠点病院以外の医療機関から、データの提供をしてもらえるか
- 各医療機関の横並びのデータや比較可能なグラフの公開を賛同してくれるか

<対応策>

1. 協議会の事務局として、院内がん登録を実施している18施設を一軒一軒訪問して、病院長に直接説明とお願いを行った。
➡顔の見える関係、信頼関係が構築できた。
2. データの公開が、患者に有益だけでなく、他の医療機関との比較が可能になることで、がん医療における自施設の状況が分かり、今後がん医療にどのように取り組めばよいのか、またどのがん種に注力すればよいのかなどの、自施設の方向性を検討するための基本データとして、自施設に有益であることを説明した。
➡現在では、参加している非拠点の病院長からも、本報告書は病院運営や経営にとっては『宝の山、なくてはならないもの』という評価をいただいている。

本日の発表内容

1. 沖縄県がん診療連携協議会

2. 沖縄県院内がん登録報告書の作成と公表の取り組み

(1)これまでの経緯

(2)分析結果からわかること

(3)問題点と対応策

(4)活用事例

3. まとめ

がん相談支援センターでの活用

1. 拠点病院等のがん相談支援センターだけでなく、**非拠点の相談部門でも活用**されている。
2. 相談員からの意見
 - (1) がん種毎に登録数の多い医療機関が明らかになり、患者さんが病院を選ぶ際の目安となっている。
 - (2) 患者さんから「自分のがんと自分のステージでは、〇〇病院では、どんな治療され、どのくらいの生存率なのか」と聞かれることも多く、患者さんに提示できる分かりやすい資料である。
 - (3) 院内・院外から「症例数の多い病院で治療またはセカンドオピニオンを受けたい」という相談があった際に参照している

実際の相談の様子



沖縄県院内がん登録報告書



各がん種に対する医療機関の選定での活用

1. 第7次沖縄県医療計画に基づき、2018年度に沖縄県が琉球大学に委託。具体的には、琉球大学病院がんセンターが事務局となり、**沖縄県がん診療連携協議会の組織を用いて、選定条件を決定した。**
 ➔12のがん種の選定条件を決定(①食道、②胃、③大腸、④肝、⑤胆道、⑥膵、⑦肺、⑧乳房、⑨子宮、⑩前立腺、⑪甲状腺、⑫血液)
2. その後は、毎年の院内がん登録および医療機能調査の結果に基づき、条件に合った医療機関を、毎年選定し直している

県庁ホームページで公開



がん診療を行う医療施設

【ご覧になる際の留意事項】
 令和4年度に実施した医療機能調査で、「がん診療を行っている」と回答あった県内医療施設のうち、別添掲載要件を満たしていること確認できた医療施設のみを掲載しています。掲載されていない医療施設においても、がん診療を行っている場合があります。掲載の内容は、令和5年9月時点の県内医療機関に関する情報です。以後、提供する医療の内容が変わる場合もあります。

(令和5年9月時点)

がん診療連携拠点病院等		医療体制	大腸がん	肺がん	胃がん
掲載要件を充足している医療機関					
北部	[地域がん診療病院] 北部地区医師会病院(名護市)	北部地区医師会病院(名護市)			
中部	[地域がん診療連携拠点病院] 県立中部病院(うるま市)	県立中部病院(うるま市) 中頭病院(沖縄市) 中部徳洲会病院(北中城)	県立中部病院(うるま市) 中頭病院(沖縄市) ハートライフ病院(中城村)	中頭病院(沖縄市) 沖縄病院(宜野湾市)	県立中部病院(うるま市) 中頭病院(沖縄市) ハートライフ病院(中城村)
南部	[都道府県がん診療連携拠点病院] 琉球大学病院(西原町) 那覇市立病院(那覇市)	琉球大学病院(西原町) 那覇市立病院(那覇市) 沖縄赤十字病院(那覇市)	琉球大学病院(西原町) 那覇市立病院(那覇市) 浦添総合病院(浦添市) 友愛医療センター(豊見城市)		琉球大学病院(西原町) 那覇市立病院(那覇市) 浦添総合病院(浦添市) 友愛医療センター(豊見城市)
宮古	[地域がん診療病院] 県立宮古病院(宮古島市)	県立宮古病院(宮古島市)			
八重山	[地域がん診療病院] 県立八重山病院(石垣市)	県立八重山病院(石垣市)			

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/shipeikansensho/1005229/1006327.html>
 (2024年12月10日参照)

2024/12/23

第16回がん診療提供体制のあり方に関する検討会

36

検討WGの様子

1. 肺、胃、肝臓、大腸、乳房、子宮、胆道、膵臓、食道、前立腺、甲状腺、血液の12がん種のWGを設置した。
2. 12がん種ごとに、**院内がん登録症例数の多い上位6施設**から副院長または部長などの現場の責任者を構成員とした。各WGに共通してがん薬物療法専門医と放射線治療専門医を追加した。
3. **選定条件の決定には、院内がん登録によるベンチマーク分析結果が有用**であった。

胃がんWG



肝胆膵がんWG



血液腫瘍WG



院内がん登録の施設別情報



選 定 要 件

肺 が ん

施設要件	<ol style="list-style-type: none">1. キャンサーボード2. がん薬物療法のレジメン審査・登録・管理委員会3. 緩和ケアチーム4. セカンドオピニオン5. 院内がん登録に関する委員会6. 医療安全管理に関する委員会
個別要件	<ol style="list-style-type: none">1. 一般社団法人日本呼吸器学会認定施設2. 呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設(基幹施設)または(関連施設)3. 肺がんに対する手術が年24例以上ある施設4. 肺がんに対する化学放射線治療または放射線治療が年12例以上ある施設。または適切に連携を取ることで、必要な時期に適切に他の医療機関に紹介して化学放射線治療または放射線治療を実施していて、その化学放射線治療または放射線治療が年12 例以上ある施設5. 肺がんに対する薬物療法が年18例以上ある施設6. 肺がんに対する新規治療(手術、薬物療法、放射線療法などすべて含む)が年50例以上ある施設

本日の発表内容

1. 沖縄県がん診療連携協議会

2. 沖縄県院内がん登録報告書の作成と公表の取り組み

(1)これまでの経緯

(2)分析結果からわかること

(3)問題点と対応策

(4)活用事例

3. まとめ

ま と め

1. 沖縄県では、拠点病院以外の主要医療機関でも院内がん登録を行っていることで、全国最下位から**全国一の院内がん登録カバー率**となっている。結果として、今後の沖縄県のがん医療をどうしていくべきかを、院内がん登録のデータを用いて議論することができるようになった。
2. 各医療機関の長に、直接働きかけることにより、**院内がん登録データの公開が、患者に有益なだけでなく、医療機関にも有用であることを理解**してもらえた。
3. **各医療機関の長の理解が得られたことで、事務局が考えた患者に有益な情報公開のみならず、その後に協議会において委員(主に患者関係委員)からでた提案事項**に関しても、全て実現し、かつ公開できた。
4. さらに、院内がん登録データを利用しての、
 - (1) 相談支援部門での活用
 - (2) **12がん種ごとの医療機関の選定**(←協議会における集約化と分散化の議論)を行うことができるようになった。